

拠点型結核相談支援センターについて

独立行政法人国立病院機構和歌山病院

かつて国民病を言われた結核は減少していきっています。しかし、2017年、全国で年間1万6千人あまり、和歌山県では年間140人足らずが結核を発症しており、決して忘れてはいけない病気です。

結核は結核菌の空気感染でおこるため、感染防止対策が重要であり、さらに周りの人が感染した可能性のある場合は、さらなる発病を予防するために接触者の検診が必要となることもあります。

診療の場では、適切な早期診断、確実な標準的治療の開始が行われる必要があり、治療開始後は関係者を中心とした治療終了までの服薬支援の実施が重要となります。

結核患者さん本人、その家族だけではなく、これまで患者さんの医療・看護・介護にかかわってきたスタッフ、そして診断・治療、服薬支援に関わる関係者の方々にとっては、結核に対しての多くの不安があると思います。これらの不安を解消していただけるよう独立行政法人国立病院機構和歌山病院では、和歌山県との共同事業として、拠点型結核相談支援センターを開設しています。

結核支援センターの役割は、結核患者さんやご家族、一般住民、診療に携わる医療機関や高齢者入所施設等からの相談を受け、回答させていただくことです。また、治療患者さんの服薬支援に関わる情報交換を保健師さんなどで行います。2018年度は1年間で合わせて、107件の相談・お問合せをいただき、回答いたしました。

もう一つの役割として、病院や高齢者施設、各地域での結核に対する研修会の開催があります。医師もしくは看護師が職場など直接現地へ伺い、講演させていただきます。少人数対象でもOKです。この2年間では8か所で研修会を開催しました。

結核に関する、心配な点など、以下にてご相談ください。

特に急がない要件の場合は下記時間に関係なくメールでいただければ、2、3日の間で返信いたします。

また、結核研修などのご依頼も以下にご連絡ください。

ホームページ：<https://wakayama.hosp.go.jp/kyotengatakekkakusoudancer/index.html>

相談日	月曜日～金曜日（土・日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）除く）
受付時間	13：00～16：00
相談料	無料
お問い合わせ	電話番号：0738-32-7033（直通） FAX：0738-32-7034（直通） メール 419-tbshien@mail.hosp.go.jp（相談員直通）

